



楠隼 Letter

～ 来たるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第32号
令和4年5月発行



薬丸野太刀自顕流体験

5月14日(土)の2限から4限まで、中学1年生は、薬丸野太刀自顕流体験を行いました。薬丸野太刀自顕流とは、つま先立ちで腰を下ろした蹲踞(そんきょ)の姿勢を基本とし、他人を侵さず、自らが充実して表現し、困難にくじけない意志・気性を養成することを目的とした薩摩古来の武道です。講義の中で自顕流や薩摩の伝統精神を学んだ後、基本姿勢や打ち込みを体験しました。中学1年生が大きな声を上げ、打ち棒で横木(立て木)を打ち付ける様子に、気迫を感じました。

入学したばかりで、学習、部活動、学校生活、寮生活に慣れないこともまだまだ多いでしょうが、自顕流体験で培った精神で、様々なことに前向きに取り組んでほしいと思います。



卒業生の声

令和3年度
卒業生
の声



東京大学
理科二類

星乃 直理さん
(東京都出身)
中学2期生・高校5期生
(中学校からの入学)

寮で得た友情は一生の財産です

楠 隼寮では、規則正しい生活を送ることができます。食事、入浴、就寝などの時間が決められているため、スケジュール管理がしやすいです。そのため、自分の興味があることや、やりたいことに真摯に打ち込むことができます。さらに、学習時間が設定されているため、勉強習慣を確立することが容易です。このような規則正しい生活を自宅でするのは決して簡単ではないと思います。もし楠隼に入っていなかったならば、スマホやテレビなどの誘惑に負け、ここまで勉強に意欲的に取り組むことはなかったでしょう。自分の夢に向けて大学進学を考えているのであれば、勉強しなければならない環境である寮に身を置くことは効果的です。ときには、地元肝付町の方々から差し入れをいただくこともあり、快適な寮生活を送る契機となりました。こうした地元の方や寮スタッフの方の支えのおかげで、勉学に集中して励むことができました。

寮 では異年齢の人たちと常に一緒に生活するので、自分の見聞が自然と広がります。それまで自分が考えもしなかったような価値観を持つ人とたくさん出会いました。会話や持ち物などから、違う文化や暮らしに思いを馳せることができます。育った環境の違う同級生たちの考えや発想も、自分にはないユニークさがあり、そこから多くのことを学び取ることができました。他愛のない会話や冗談を交わして、毎日笑って過ごすことができる、そんな寮で得た友情は一生の財産です。